平成21年12月1日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewashonai

国際村音楽祭2009　トリオ ソル クーバ　コンサート

国際村だより もくじ

P２～３：国際村音楽祭2009
　　アマゾン民族館ミュージアムで絵を描こう
P４：マレーシア高校生訪日団来鶴
P５：日本語教室 施設見学会＆ぶどう狩り・芋煮
　　シャプラニール全国キャラバン
P６：これまでの事業
　　中国語一日講座・ベンガル語特別講座・
　　タイ語短期講座（入門編）・せかいの台所
P７：国際村これからの事業
　　スペイン語講座・せかいの台所
P８：チャリティダンスパーティー　英語交流クラブ

アマゾン民族館

世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00～17:00

毎週土曜日は、小･中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol.51

Quarterly

毎年、民俗音楽や世界の楽器を紹介している国際村音楽祭。今回は灼熱の太陽・情熱の国キューバから「ＴＲＩＯ ＳＯＬ ＣＵＢＡ」を迎えました。９月11日㈮にワークショップ「キューバのリズム体験・スペイン語で歌おう」を、12日㈯にＴＲＩＯ ＳＯＬ ＣＵＢＡコンサートを、国際村ホールを会場に行いました。

TRIO SOL CUBA　コンサート

今年の国際村音楽祭は、キューバの名曲を中心に、歌声、ハーモニー、ボンゴのリズム、更にギターやトレス（キューバ独特の小型弦楽器）が織り成すリズミカルな音楽を楽しんでいただきました。

はじめに、仙台と地元のダンスサークルの方々からダンスを披露していただき、開演しました。

トリオ　ソル　クーバの演奏が始まると、ステージに間近な席ではじっくり耳を傾けながら、テーブル席ではグラスを傾けながらリラックスして聴き、後ろの踊れるスペースでは音楽に合わせて楽しく踊ったりと、来てくださった皆さんそれぞれが楽しんで過ごされたようです。

今回の音楽祭は、音楽と併せてキューバという国を紹介しました。

観光パンフレットでの紹介コーナー、開演前・幕間はキューバの自然や歴史の映像を流し、キューバ料理や飲み物を準備しました。

キューバがほんの少し近くなったと思います。

ワークショップ「キューバのリズム体験・スペイン語で歌おう」

コンサートの前日、参加者18名でトリオ　ソル　クーバの3人を囲んで、キューバ独特のリズムを体験しました。なかなか難しく、最初は手拍子で、次に手作りマラカスを使って、3人の歌に合わせながら教えてもらいました。

ペドロさんから、ボンゴを使って教えてもらました。

その後は、全員で歌ったりミニミニコンサートといった感じの楽しい2時間でした。

キューバ料理・飲み物コーナー

キューバ料理は、黒豆の炊き込みご飯・キューバ風ひき肉炒め・青バナナのフライをワンプレートで、デザートは冷やしたお米の牛乳煮込みを販売しました。普段見ることも食べることもない料理です。コンサートが始まる頃には完売しました。

飲み物コーナーでは、ソフトドリンクはキューバコーヒー、キューバサンライズ（紅茶とオレンジジュースのミックス）を、アルコールはモヒート（ラム酒とミントで作ったカクテル）を販売しました。

音楽祭2009を終えて

実行委員長　　漆山　永吉さんより

オラ！　皆さんお元気ですか。

９月にはキューバＮｏ２のミュージッククラブにお越しいただきありがとうございました。キューバの名物料理に音楽そしてダンスはお気に召したでしょうか。

キューバと聞いたら野球やバレーボールなどのスポーツを思い浮かべる人が多いと思いますが、実は知る人ぞ知る“音楽大国”でもあるのです。少し前は平均年齢７０才超のバンド「ブエナビスタ　ソシアルクラブ」の音楽や映画のＣＤもありましたよね。街を走る車はみなポンコツ、物も不足がちですが人生をエンジョイしている彼らの姿を見ると日本が貧相に感じます。音楽やダンスのない人生それは牢獄、彼らはそう言って笑い飛ばします。

今回の音楽祭も多くのボランティアの人たちと国際村のスタッフの支えがあり実現できました。深く感謝申し上げます。では　アデオス　アミーゴ、アスタマニアーナ（あすた、またのー）　P.S.あれからまだ踊り続けている人たちがいるとか、興味ある人は国際村までご一報ください。（カルロス　漆山）

キューバの音楽だけでなく国を紹介するコーナーを設けました。ポスター、観光パンフレット、様々なチラシ、すべてキューバ大使館から提供していただきました。

出演者・実行委員・ボランティアの皆さん、お疲れさま♪

ミュージアムで絵を描こう!!

村だよりvol.50でもお伝えしました「ミュージアムで絵を描こう!!」の応募作品を、11月30日までアマゾン民族館前に貼り出しました。どの作品も迫力があり、子ども達の観察力の鋭さに驚かされました。低学年と高学年の部に分け、それぞれから一人ずつ館長賞を選出しました。館長賞を受賞されたお二人には、アマゾン民族館図録とアマゾングッズ（今回はボラ族の人形）を進呈させていただきます。

館長賞受賞作品

低学年の部
（仙台市）
矢野　夏惟人さん
小学３年生

高学年の部
（鶴岡市）
野坂　真由さん
小学５年生

ミュージアム月間　11／1～11／30

11／1～11／30のミュージアム月間中、再び「ミュージアムで絵を描こう!!」が行われました。この特別企画も昨年から数えて3回目という事もあり、参加作品のレベルが高くなってきました。お気に入りの資料を見つけ、その資料を細部まで観察…。一目ぱっと見るのと違い、じっくり観察する事によって、その資料・展示に対する子ども達の意識が変わってきているのが絵を通して伝わってきます。秋の「ミュージアムで絵を描こう!!」の受賞作品も、アマゾン民族館前に貼り出します。どんな作品がそろうか、楽しみですね。是非見にいらしてください。

受賞者には、アマゾン民族館図録＋アマゾングッズを進呈！

21世紀　東アジア青少年大交流計画

マレーシア高校生訪日団　来鶴！

10月15日から20日までの間、「21世紀東アジア青少年大交流計画」の事業の一環として、マレーシア高校生訪日団23名が鶴岡に滞在しました。この事業は、平成19年から青少年の交流を通じてアジアの強固な連携の土台を築こうと日本政府が実施しているもの。国際村での受け入れは去年のラオスに続いて2回目となります。

一行は滞在中、東北公益文科大学の太陽光発電や酒田北港での風力発電、リサイクルプラザ「くるりん館」などを見学しました。特にゴミのリサイクルについては大変関心があったようで、分別がリサイクルにいかに大切かなどを学んでいました。

今回の滞在の大きな目的の一つが、学校交流とホームステイでした。今年も県立鶴岡中央高校に受け入れ校となっていただき、国際系列の生徒との交流や巻きずしの調理実習をしました。来日したマレーシア高校生はほとんどの生徒が英語を話し、また中には日本語を数年間学んでいる生徒もいて、互いにたくさんコミュニケーションをとっていたようです。

訪日生は、2泊3日のホームステイも体験し、庄内一円の12家庭に２人一組で生徒を受け入れていただきました。ホストファミリーの皆さんからは「とても楽しく良い時間を過ごせた」「もっと滞在期間が長いほうがよい」という声も寄せられ、短い時間での交流でしたが内容の濃い交流ができたようでした。

マレーシアはイスラム圏であるため、食事やお祈りなど日本と違う習慣のために不便も多いのではないかと、受け入れ前は心配していましたが、実際生徒と一緒に過ごしてみると、小さい配慮があればある程度のことは解決できることがわかりました。鶴岡滞在の中でマレーシアの高校生も日本人である私たちも、互いの守るべきところを守り、配慮し、共存する方法を、少し見出すことができたのではないでしょうか。

ホストファミリーや中央高校の皆さんはじめ、受け入れに協力してくださった皆様、ありがとうございました。

鶴岡中央高校英語科　滝川　美穂先生より感想をいただきました。

昨年度のラオス訪問団に続き、今回のマレーシアの皆さんとの交流から、英語を通してのコミュニケーション、異文化理解等多くのことを学ばせていただきました。一日という短い時間ではありましたが、生徒の心に言葉では表現できないような大きなものが残ったと思います。グローバルコミュニティーの中での人的交流の重要性は申し上げるまでもないことですが、このように、東アジア諸国において青少年交流が拡大していることは素晴らしいことであります。本校総合学科には国際交流系列が開設されておりますが、今後一層国際理解を深め、世界の平和に貢献できる若者の育成ということに力を入れていければと思っております。出会いと多くの感動をありがとうございました。

スルタン　広美さんより「ホストファミリーを通して感じたこと」

ホストファミリーを始めてから家庭の中の雰囲気が変わりました。ホストになって約１０年になります。

今回はマレーシア訪日団の女子高生２人が我が家へ。彼女たちの宗教はイスラム教です。イスラム教のイメージというと、豚肉を食べない、お酒を飲まない、お祈りをする、あとは「テロ」ですよね。イスラム教のイメージはあまりよくありません。中に入ってよく分かることですが、イスラム教の方々は私たちと何も変わりません。宗教に真面目に取り組んでいる方が多く、そして宗教を他人に押し付けません。彼女たちは礼儀正しく素直で、日本の文化を学ぶことに積極的でした。何といっても嬉しかったのは、納豆を美味しいといって２杯食べてくれたことでした。

色々な子供たちが日本へ訪れて各家庭の中で友情を結び、大人になっても解けない絆へとかわり平和な世界を創造できる大人になってもらいたいと感じます。

ホストファミリーをするようになり他国の事を知ることで、住んで当たり前の日本を大切に思うようになりました。

管内施設見学会 & ぶどう狩り・芋煮

9月13日㈰、出羽庄内国際村の日本語教室に通っている外国出身の学習者やボランティアの指導者を中心にした、管内施設見学会を行いました。

今回の見学会では、生活に関係する施設の見学だけでなく、季節のイベントであるぶどう狩りや芋煮会も盛り込み、楽しみながら学べる内容となりました。参加者は全部で64名。日本語教室関係者とその家族だけでなく、国際村でコミュニティ通訳として活動しているメンバーも参加しました。

午前中はリサイクルプラザ「くるりん館」で、ゴミの分別の仕方、リサイクルまでの流れを学びました。普段は何気なく分別している物も実は違う分け方だったり、リサイクルされてできた製品を見たりと、新しい発見がたくさんありました。質問も多く出され、改めてきちんと分けることの重要性を学びました。

昼は櫛引の佐久間利兵ェ観光果樹園に行き、ぶどう狩りと芋煮で庄内ならではの秋を満喫。スーパーではあまり見られないような、さまざまな種類のぶどうを味わいました。

午後は三川町にある県の防災学習館で、体験学習。外国出身者の中には、母国では地震を体験したことのない参加者もいて、地震の仕組みを聞いたり、実際に地震体験をして避難の方法などを学びました。他に火災の時の避難の仕方を模擬体験したり消化器の使い方の指導をうけ、最後は救急救命の器具であるＡＥＤの使い方を習いました。この際、講師の説明をコミュニティ通訳の参加者などが英語と中国語でそれぞれ通訳をし、日本語があまり分からない参加者にも理解できるようにするなど、通訳の実地練習も同時にすることができました。

今年は参加者も多く、大変にぎやかで内容も充実した施設見学会となりました。

◀ いろいろな ぶどうを味見

ゴミの分別を確認 ▶

シャプラニール全国キャラバン
バングラデシュの家事使用人として働く少女への支援活動

10月21日㈬、シャプラニール全国キャラバンが来鶴し、市内の小学校と国際村で講演会が行われました。今年の講演内容は、「子どもの時間を取り戻す～バングラデシュの家事使用人として働く少女への支援活動～」。昨年までバングラデシュのダッカで駐在員をしていた、藤岡恵美子さんが講演しました。

午前と午後は櫛引東小学校と藤島小学校を訪問し、小学4年生～6年生を対象に、バングラデシュの国や生活の様子など、スライドと実際の道具（包丁やうちわなど）を使って説明。バングラデシュでは学校に行けない子どもがいることや、他の家で使用人として働いていることなども紹介されました。児童は生活様式の違いにも驚いていましたが、それよりも「学校に行けない子どもがいる」という事実に大変驚いていました。児童からは、「募金をしてあげたい」、「辛い生活をしている子がいることに気づかせてくれてありがとう」といった感想が寄せられました。

夜は国際村で講演会が行われました。参加者は16名。ここでは、詳しい国内の現状のほかに、実際の支援活動の内容（家事のトレーニング、読み書きを教える等々）が紹介されました。子どもたちへの支援のみでなく、雇い主に対するワークショップなども行うなど、現地でも活動への理解を広めているそうです。

講演後は、参加者全員、バングラデシュカレーで会食。このカレーは、山形大学農学部の留学生、モウリックさん、シャーさんとそのご家族の皆さんが作ってくれたものです。

夜の部の参加者からは、「現場を体験した人の声を聞けて良かった」、「今後自分たちが何をできるか考えてみたい」といった感想をいただきました。

櫛引東小学校での講演の様子

全国キャラバンは今後も各地を訪問します。この様子は藤岡さんのブログで公開されていますので、ぜひご覧になってみてください。

特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会は1972年設立。ストリートチルドレンや働く子どもたち、寡婦や老人、障がい者など社会的・経済的に「取り残された人々」の支援活動を行っている団体。また、シャプラニールとは、ベンガル語で、「睡蓮の家」という意味で、睡蓮はバングラデシュの国花にもなっている。URL: http://www.shaplaneer.org/

出羽庄内国際村　これまでの事業

この秋、たくさんの方々が国際村の事業に参加してくださいました。外国語講座・料理教室・文化体験と、その楽しみ方は様々です。今年度参加できなかった皆様、次の機会には是非ご参加ください。お待ちしております。

10/4(日)　国際村で中国を体験しよう　中国語一日実践講座

今年で4回目の中国語1日講座はより実践的な中国語を学ぶため、実際に中国の国内にいることを想定した体験型学習を行いました。午前中は参加者が各自、国際村のホール内で仮定した場所を訪れ、各所担当の中国語指導者と実践会話の練習をしました。午後は五つの班に分かれ、それぞれ指導者の助けをかりながら中国語でのプレゼンテーションを準備し、発表しました。参加者は14名（大人：12名、小学生：2名）で、中国語のレベルは様々でしたが、一対一の形で練習したため、各参加者が自分のレベルに合った会話ができたようです。

参加者の声（アンケートの抜粋）：

- 実践での会話は、個人のレベルに合わせられるので、よかった。
- 午後の班ごとの勉強もとても楽しかった。
- 実践での会話の時間をもう少し増やすと更に効果が上がると思う。
- 他の場面など、年に1回でなく回数が増えたらいいね!!
- 待っている時間が長い場所もあり、先生がもう少しいたらと思った。

午前　実践会話の1コマ

午後の学習風景から

10/3(土)～12/12(土)　短期講座　タイ語講座（入門編）

国際村外国語講座新企画のタイ語講座が開講して２ヶ月が経ちました。受講者は３名で少人数という事もあり、その中身は濃く、順調に進んでいます。

挨拶などの基本会話はもちろん、タイ王国の文化も学習内容のひとつとして、講師の川上アンさんが用意してくれたタイのデザートを楽しむひとこまも。ただ楽しむだけではなく、レストランでの注文の仕方を実践する等その学習の内容は多種多彩です。短期講座（全10回）という事もあり、旅行などでの必要最低限の言葉を学ぶ事で精一杯ではありますが、タイ語を学んだ事が、受講者の皆さんの今後の生活に役立ち、更にタイへの興味が増す事を期待したいと思います。

10/18(日)～11/1(日)　特別講座　ベンガル語に触れて、バングラデシュを知ろう！

“ベンガル語”、あまり馴染みのない言語でしょうか。驚く事に、ベンガル語を話す人は2億人を数え、日常会話の言語人口としては、世界で５番目に多い言語であるとの事。こんな風に、知っているようで知らなかったベンガル語やバングラデシュについて、基本情報や言葉の意味等をあらためて知ることが出来ました。講座は3回と短い期間ではありましたが、内容は大変に充実したものでした。特に2回目の講座では、講師のモゥリック・スブラタさんをはじめ、ご家族やお友達の皆さんのご協力をいただき、デザート作りを通して文化を学び、お互いの国の文化を紹介仕合ながら、始終和やかに過ごす事が出来ました。

8・10月 せかいの台所　チリ料理・オーストラリア料理

8月はパトリシオ　マルチネスさんとセバスティアン　ガルベスさんにチリ料理を習いました。まぐろのセビーチェと、トマトと玉ねぎのサラダ・チレーナ、カスエラの４品です。カスエラは肉や野菜、米などを入れて煮込むスープ。いろんな味が染みだして、心温まる料理でした。

10月はロビン　コチューさんにオーストラリア料理を習いました。リソール（ミートボール）、マッシュポテト、サラダ、アンザック・ビスケットの4品。アンザック・ビスケットは、兵士の健康を考え作られたもの。卵を使わず、日持ちする美味しいビスケットでした。

国際村・これからの事業

12/13(日) チャリティーダンスパーティー

ビッグバンドの生演奏で楽しむチャリティーダンスパーティーが今年も開催されます。出演バンドは、SWING CRANES JAZZ ORCHESTRA!!

これから雪が降り、寒くなるこの季節。一緒に社交ダンスで身も心も温めませんか？

チケット売上げの収益金は、国際村や朝日地区などを会場として、地域の外国出身者に日本語を教えている「国際村日本語教室」へ全額寄付されます。当日はアマチュアデモンストレーションも行われます。（詳細はＰ8のお知らせをご覧下さい）

チケットをお求めの方・問合わせは出羽庄内国際村事務局までご連絡下さい。

11/10(火)～3/16(火) 秋からはじめるスペイン語 ¡Hola, Español!（オラ　エスパニョール!）

秋から始まったスペイン語講座。初級・中級両コース共に順調に進んでいます。まだ開講したばかりですので、これからの受講も充分間に合います。見学は１回無料で出来ますので、お気軽にお問合わせください。

◆日程：
11/10.17　12/1.8.15.22　1/19.26
2/2.9.16.23　3/2.9.16（火曜日 全15回）
＊11月は終了

◆コース・時間：初級…19時～20時、
中級…20時～21時

◆講師：オスカー　ゴンザレス氏

◆受講料：15,000円　＊賛助会員の方は割引あり

◆テキスト代:1,575円（税込）
「驚くほど身につくスペイン語」
（高橋書店）

12/20(日) せかいの台所 ベトナム料理～フォンさんの台所～

国際村の人気講座「せかいの台所」。12月はベトナム料理です。講師はベトナム・ホーチミン市出身の川村フォンさん。com tam（クムタム…ロース肉やたっぷりのおかずをのせて食べる砕いた米を使った料理）とcanh（ガン…ニラと豆腐のスープ）を作ります。

ベトナム料理と言うと生春巻きやフォーがよく知られていますが、クムタムは庶民料理の1つとしてよく食べられているそうです。定員15名ですので、お早めにお申込みを!

1/30(土) 出前講座櫛引編せかいの台所 スペイン料理　～バージニアさんの台所～

せかいの台所には、会員の皆様を主とした、年に6回の料理教室の他に、全て一般募集で企画される出前講座があります。前回のエジプト料理に次いで今回が2回目です。皆さんからの申込みお待ちしております。

●日　時：2010年1月30日(土)10時～13時30分
●場　所：櫛引公民館　2階調理室
●参加費：2,000円（材料費込み）＊賛助会員の方は割引あり
●持ち物：エプロン、筆記用具　●定員：先着15名
●申込み：2010年1月5日(火)午前9時より電話にて受付けます。

申込み・問合わせ先
出羽庄内国際村　電話0235-25-3600

耳より情報

国際村１階交流サロンに 韓国風喫茶「ふるさと」開店しました！

長い間空きスペースになっていた１階交流サロンに、韓国風喫茶店『ふるさと』が開店しました。石焼きビビンバ・冷麺・トッポッキ・海鮮チヂミ等、韓国の代表的なメニューが勢ぞろい。また、韓国の雑貨も目を楽しませてくれます。皆さん！一度足を運んでみてください。

◆開店時間：10:30～14:30（夜は予約のみ）　TEL 0235-25-3668

主　催　チャリティーダンスパーティー実行委員会

CHARITY DANCE PARTY!

チャリティーダンスパーティー

ビッグバンドの生演奏を
聴きながら踊ろう!楽しもう!
優雅なダンスタイム♪

出演バンド
「スイング クレインズ ジャズ オーケストラ」

12月13日(日)

●会　場　国際村ホール
●18:30　パーティー開始
●アマチュアデモンストレーション
あります

※お問い合わせは国際村事務局まで!

¥1,000
（当日券　¥1,500）
1ドリンクつき

収益金は地域の外国出身者の言語サポート（※日本語教室支援）に役立てられます。

英語交流クラブ会員募集中!!

中・高・高専生を対象に英語交流クラブのメンバーを引き続き募集しています。

英語交流クラブはもともとはコロラド州のお友達と文通をする活動から始まり、今年は、各地からの高校生訪問団との交流や、国際村の行事に参加したり、ゲームを通して英語を学んでいます。現在、会員は10名です。

10月はハロウィンにちなんだゲームを行いました。指導者の出身地、アイルランドでよく行われるゲームです。最後にはトイレットペーパーで体を巻き、どちらが早くミイラになれるか競争しました。写真はその時のものです。

このように、英語交流クラブでは楽しく英語を学びながら、様々な文化体験、国際交流をすることができます。

英語に興味がある人は大歓迎です！お気軽にお問い合わせください！

10月の活動の様子

ワシントン州からの訪問団との交流

英語交流クラブ

活動日：土曜日または日曜日　月に1回
対象者：中学2年生～高校、高専生
年会費：2,000円　（活動費として）
指導者：英語圏出身の方

賛助会員募集中

国際村のサポーターになりませんか？

当財団では、賛助会員制度を設けております。財団の事業および運営にご支援くださる個人、法人を募集しています。

《年会費》
一般／3,000円、　高校、大学生／2,000円、
小、中学生／1,000円、　法人／1口　10,000円

《期　間》
平成２２年３月３１日まで

外国語要約版　作成のお知らせ

今回の「国際村だより」から、文章中の漢字のルビを取り、中国語と英語で要約版を作成することにしました。窓口配布用と外国の方などへのお届け分には、要約版を折り込んでおります。ご希望の方がいらっしゃいましたら、国際村事務局までご連絡ください。

あとがき

今年も早いもので、余すところ、一月となりました。

今年度の事業も、6月のワールドバザールに始まり、9月のキューバ音楽を楽しむ国際村音楽祭の開催、また、訪問団の受け入れでは、7月にワシントン州高校生、10月にはマレーシアからの高校生の訪問団が来鶴されました。このほか、外国語講座の開設や、日本語教室等、在住外国人の支援などの事業も特段の支障もなく実施させていただいております。これも偏に、それぞれの事業に関わっていただいている多くの皆さんのご協力によるもので、改めて深く感謝を申し上げたいと思います。

さて、この時期は、今年度の事業を振り返りながら、新しい年度に向けて、いろいろ思いを巡らす時期でもあります。普段お気づきのことがございましたら、遠慮なく事務局にお寄せいただきたいと思いますし、より実りある事業の実施に向けて引き続き、努力をして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

［出羽庄内国際村］December 2009 Vol.51 発行◉ ㈶出羽庄内国際交流財団 〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町８番32号
TEL 0235-25-3600　FAX 0235-25-3605　http://www.dewakoku.or.jp/